

**(第8回 情報システム学会 全国大会・研究発表大会)**  
**ベストプレゼンテーション 特別賞 受賞の言葉**

**神奈川県保健福祉局総務部病院事業課**  
**(地方独立行政法人神奈川県立病院機構本部事務局職員課)**

**岩崎和隆**

このたびは「ベストプレゼンテーション 特別賞」という名誉ある賞をくださり、大変光栄に存じます。家族も大変喜んでくれました。情報システム学会の皆様には厚く御礼申し上げます。

今回、「地方の公的機関の情報システム調達実務における供給者評価方法について」というタイトルで発表させていただきました。発表内容は私と同僚が何度かのプロポーザル方式による供給者選定を経て改良してきた方法の、現在の到達点と課題について事例をもとに明らかにしたものです。

さて、経済産業省から委託されて情報システム・ソフトウェア取引高度化コンソーシアムがまとめた「情報システム・ソフトウェア取引トラブル事例集」では、23の事例を採り上げて、紛争を惹き起こした主たる原因と、主たる原因とはいえないものの、紛争の解決を困難にした周辺の事情を分類されています。この事例集で、自治体は周辺の事情として挙げられています。また、2012年1月に特許庁情報システム開発プロジェクトの中止、同年7月には日経コンピュータが「政府システム調達 失敗の本質」という特集を掲載されました。このように、公的機関の情報システム開発はうまくいっていないというのがこの業界の共通認識と推察いたします。

私は国のCIO補佐官の方々とは異なり、大学で行政法などの法律を学び公務員試験を受験して神奈川県庁に採用され、情報システム部門に配属されました。途中、土木事務所の行政法務（許認可）に従事したこともありましたが、情報システムの開発、運用、企画に計15年間携わってきました。神奈川県職員の中では比較的長い期間、情報システムの業務に従事してきました。情報システムに長く携わってきた神奈川県職員として、また現在の出向先の地方独立行政法人神奈川県立病院機構職員として、公的機関の情報システム開発をよい方向にもっていきたいという気持ちを強く抱いております。

今回の発表で採り上げた公的機関の情報システム調達は、私が職務において重視していることのひとつです。情報システム開発において適切な供給者を選定すれば情報システム開発の成功確率が高まりますが、不適切な供給者を選定すると私共の組織では悪戦苦闘して委託管理を行っても、なかなかよい結果が得

られません。多くの場合、初回打ち合わせ時の供給者提出資料の出来具合と受け答え、2回目打ち合わせ時の提出資料への前回指摘事項、合意事項の反映状況で供給者の開発遂行能力が分かります。したがって、プロジェクト開始初日ないしプロジェクト開始後1週間くらいで供給者の良し悪しを判断できます。

にもかかわらず軌道修正はなかなか難しく、また軌道修正を図るうちにどんどん時間が経過するため、リカバリできたとしてもベストの状態に戻すことはできません。最後まで悪戦苦闘することになります。まさに、戦略の失敗を戦術で補うことはできないのであります。そのため適切な供給者を選定することに腐心しておりますが、私共のスキル不足と公的機関特有の会計法、地方自治法など法令等の制約とが相まって不適切な供給者を選定してしまうことがあります。

今回の発表では私共のスキル不足についてはひとまず置いておき（これも重要性があるテーマです。）、法令等の制約に着目して、どのような制約があり、どのようなことが可能で、私共がどのような工夫をしているか、私共にどのような課題があるかを、私が担当した人事給与システム開発調達を素材にしてまとめました。

情報システム学会は年金システムのことで発言されるなど公的機関の情報システムには関心が高いので、公的機関の情報システムの問題の重要性は認めてくださると予想しておりました。実務の傍ら必要な文献を網羅的に調査することは難しく、網羅的に調査できたか自信はありませんが、Webで調べたところ公的機関の情報システム調達の事例研究を少ししか見つけられず、今回の発表内容が有用かもしれないと考えました。しかし同時に、私共の調達方法を他の公的機関のものと比較できず、発表内容の有用性は測りかねておりました。

そのため、質疑応答及び懇親会を通して情報システム学会の有識者の皆様から有益なご意見を賜れば、私共の供給者選定方法を改善できるとともに私自身の知識を増やすことができると考え、発表いたしました。

受賞理由を拝読したところ、公的機関の情報システムの問題の重要性を認めてくださいました。もっとも、私共公的機関が情報システム開発に失敗するからこのテーマが重要なので、申し訳ない気持ちでいっぱいです。発表内容の有用性は全く自信がなく、予想をはるかに超えた高い評価に大変感激しております。ありがとうございます。

最後になりますが、私共の人事給与システムが稼働したのは供給者を始めとする関係各社の皆様、私共病院機構の業務担当の職員、私の上司、同僚のご尽力のお陰です。私は情報システムの専門家である鳥光陽介氏のアドバイスを受けながら取得者側のプロジェクトマネージャを務めました。関係各位のご足

力がなければシステムが稼働しなかったことは明らかです。また、発表当日は学会の有識者の皆様から私共の情報システム開発の改善につながる貴重なアドバイスを賜りました。そして、このような素晴らしい大会を開催されるにあたり、大会委員会をはじめとする事務局の皆様が見えないところできつと大変なご尽力をされたことと推察いたします。

皆様に厚く御礼申し上げて受賞のお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。